

# 平成 22 年 7 月 11 日執行参議院議員選挙

## 調査結果の概要

### 1 年代別の投票行動

#### (1) 年代別の比較

21 歳～24 歳 (34.96%) が最も低く、年齢層が上がるとともに、高くなっており、65 歳～69 歳 (77.33%) で最も高くなり、70 歳代以上 (67.49%) では低下している。この傾向は従来の選挙と同様である。

#### (2) 前回参院選との比較

前回参院選と年代別で比較してみると、20 歳で 7.36 ポイント上回った。ただし、今回の調査では住民基本台帳のデータを基準人口として利用しており、今回と前回のデータ集計方法の違いを考慮する必要がある。他の年代は、ほぼ同様の投票率を示している。

なお、全体の投票率 (公式結果) は、58.70% で、前回参院選の 57.87% に比べ 0.83 ポイント上回っている。

### 2 男女別・年代別の投票行動

65 歳以上の各層を除き、女性の方が男性より高くなっている。特に、50 歳～54 歳では、男性 64.92%、女性 67.76% で、2.84 ポイントと最もその差が大きくなっている。

なお、全体の男女別投票率 (公式結果) は、男性 58.60%、女性 58.80% で、女性の方が 0.20 ポイント上回っている。

### 3 地域別・年代別の投票行動 (12～13 ページ参照)

区部、市部、郡部、島部、いずれも、60 歳代が最も高く、20 歳代が最も低くなっている。

なお、地域別の投票率 (公式結果) をみると、区部 58.23%、市部 59.69% で、区部の方が 1.46 ポイント下回っている。

#### 4 区部地域別・年代別の投票行動（14～15 ページ参照）

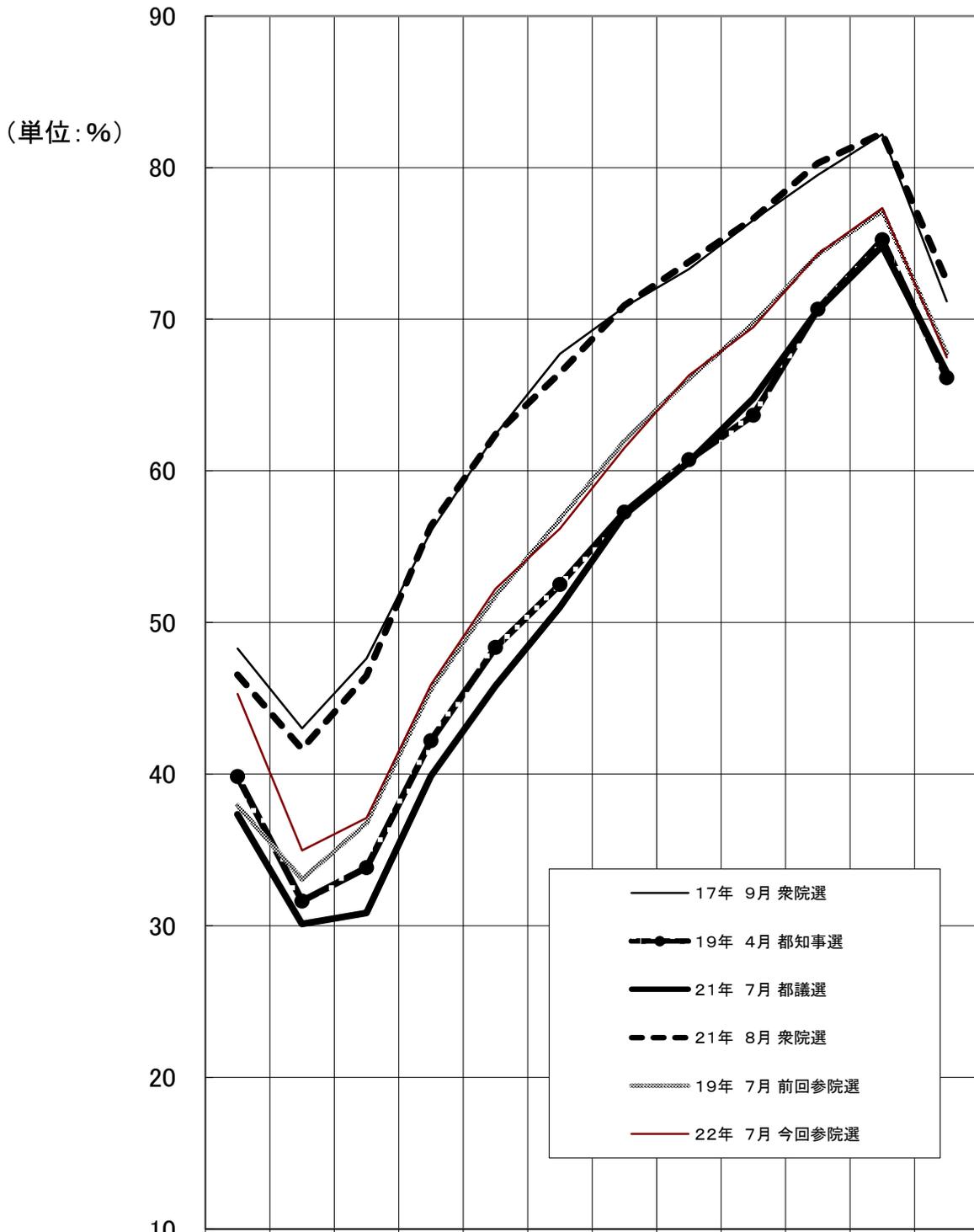
特別区をさらに、①都心地域、②城南地域、③城西地域、④城北地域、⑤城東地域の5つに分け、地域ごとの概要をまとめている。

なお、26市5町8村については、面積が広く、また区部に比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

（注） ① 平成22年7月11日執行参議院議員選挙を「今回参院選」と略した。

② 平成19年7月29日執行参議院議員選挙を「前回参院選」と略した。

# 年代別・選挙別推定投票率一覧



	20歳	21～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70代以上
17年 9月 衆院選	48.28	43.01	47.62	56.03	62.40	67.72	70.81	73.30	76.53	79.51	82.19	71.18
19年 4月 都知事選	39.84	31.63	33.83	42.21	48.36	52.51	57.28	60.74	63.67	70.67	75.25	66.15
21年 7月 都議選	37.34	30.12	30.84	39.87	45.80	51.00	57.08	60.58	64.76	70.61	74.83	66.51
21年 8月 衆院選	46.56	41.66	46.48	56.36	62.39	66.45	70.90	73.77	76.64	80.29	82.27	72.55
19年 7月 前回参院選	37.93	33.07	36.77	45.59	51.75	56.81	61.97	66.09	69.74	74.27	77.13	67.76
22年 7月 今回参院選	45.29	34.96	37.11	45.91	52.22	56.19	61.51	66.30	69.48	74.29	77.33	67.49